

# 2023 年度 事業計画書



公益財団法人ニッポンドットコム

## 1. 方針

当財団は日本に関する最新の情報を、日本語及び国連公用語である英語、中国語（簡体字・繁体字）、フランス語、スペイン語、アラビア語、ロシア語を通じジャンルを問わず、硬軟取り混ぜて、ニッポンドットコムから国内外の人々に向け発信している。

2022 年度は長期化するロシアのウクライナ侵攻による穀物価格の高騰や円安の影響で、物価が大きく上昇。全国消費者物価指数の総合指数は 40 年ぶりの伸び率となり、国民生活を圧迫した。一方、新型コロナは感染症法上の分類を 5 類に引き下げることを決定。入国制限の緩和や円安によってインバウンドに回復の兆しがあるなど、当財団に追い風が吹き始めている。

こうした背景を踏まえ、2023 年度は公益法人としてのパブリック・ディプロマシーの一端を担う存在であることの認識を高め、SNS を活用したドメインパワーの強化をはじめ、国内外での認知度向上に向けた広報活動に注力。関係団体との連携も強化し、グローバルな課題に対する日本の海外発信力の向上に貢献する。

取材・編集経験豊富な日本人スタッフと日本に精通したネイティブスタッフの力を活かし、世界に向けてリアルタイムで情報発信する。

## 2. 事業計画

### 2.1 公益目的事業

当財団は多言語情報発信 Web サイト「nippon.com」の継続と累積により、親日家、知日派を世界中に増やし、日本が外国において種々その国益を追求する際、それを容易にする下地を、常日頃から醸成することを目標としている。

当財団は商業ベースとは一線を画し、以下の編集指針の下、独自の日本情報発信サイトとしての存在感を高めることを目指す。

#### 【nippon.com 編集指針】

- ・ 正確で公正な情報を発信する
- ・ 独立した立場からの自由で責任ある編集方針を堅持する
- ・ 人権、名誉、プライバシーを尊重する
- ・ 特定の個人・団体への利益誘導を厳に慎む
- ・ ありのままの日本を多様な言語を通じて広く世界に発信し、国際的な相互理解に貢献する

#### 【事業内容】

##### 1. 多言語情報発信サイト「nippon.com」の運営

国連公用語 6 カ国語（英語、中国語（簡体字・繁体字）、フランス語、スペイン語、アラビア語、ロシア語）+日本語による情報発信サイトのコンテンツ制作・発信

##### 2. 放送・編集設備を活用した公益法人等の情報発信への協力

放送・編集設備の貸与及びコンテンツの制作・編集・管理・協力

#### （編集部）

##### (1) コンテンツの品質向上

一例として「課題先進国として問題提起となるようなコンテンツ制作を目指す」などの視点で品質の向上を図る。

##### (2) 2017 年度から開発しているシステムの機能等の検証、評価の実施

#### （海外発信部）

##### (1) ユーザー目線に立った企画を制作し、正確且つ各言語圏のユーザーに適した翻訳を行う

(2) 若い人の知見や感覚を取り入れ、広い世代に向けた SNS 発信を強化、拡散する。

(3) 公開本数を増やし、PV 数増加を目指す

(総務部)

- (1) 就業スタイルを見直し、就業環境の整備を図る
- (2) 情報セキュリティに関する規程・運用ルール等の整備により、安全な環境を維持する
- (3) チームマネジメントに向けた職員研修を実施する

(広報部)

- (1) ニッポンドットコムブランディングの構築
- (2) 駐日外国公館等の対外的な連携への取り組み
- (3) 広報ツールの制作

## 2.2 収益事業

当財団では、多言語 Web サイト「nippon.com」で蓄積したノウハウを活用して、コンテンツ制作や翻訳などの収益事業を実施しており、その収益を公益目的事業のために活用している。

収益事業の実施にあたっては、組織的な営業体制と効率的な業務推進体制を強化することで、適切な収益の確保を目指している。

現在、グローバルで ESG 経営を求める声が高まる中、多くの企業がサステナビリティ関連の情報開示に注力しており、当財団も培ったノウハウを活かして CSR 等の報告書作成をサポートする。また、Z 世代を取り込むために SNS による発信や動画コンテンツの活用を強化する企業が増えており、当財団もマルチメディアコンテンツの制作を継続するとともに、そこで得た知見を多言語 Web サイトのコンテンツ制作に活用する。

公益法人においてもオウンドメディアによる情報発信の強化が求められており、収益事業で培った WEB 発信のノウハウを活用し、公益法人の発信力強化に貢献する。

(制作部)

- (1) 財団公式サイトリニューアルに伴う営業活動の強化
- (2) 外部スタッフ拡充による制作力の強化

以上